

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>1 「基本構想(素案)」各項目に関する意見・感想</p> <p>(1)全般</p> <p>ア 市街地だけでなく、里山があるような農村、中山間地の暮らしが取り残されないような視点が必要。</p> <p>イ 働き方改革などコロナ前からある課題と、新しい生活様式などコロナ後に新しく出てきた課題は、解決の時間軸が違うので分けて議論した方がいい。</p> <p>ウ コロナ禍により、東京一極集中から地方の価値が改めて顕在化したところがあり、若者をはじめとした地方回帰の動きも踏まえ、これを契機に新しい地域のあり方や鹿児島県の価値を考える視点が重要。</p> <p>エ リモートワークの普及により、地方からでも仕事ができるようになり、色々な環境で働けるような状況になってきている。</p> <p>オ ICTを活用した働く環境づくりやLGBTなど価値観の多様性の部分があまり盛り込まれていないように感じる。多様な社会を実現するために、どのようなアクションを取るかというところまで盛り込めないか。</p> <p>カ 共創の観点から、働き方改革の中で市民の利益や住んでいる所に目を向けられれば、コミュニティ協議会などの活性化につながるのではないかと思います。働き方改革について、地域活性化の視点を取り入れていただきたい。</p> <p>キ 鹿児島市に住む外国人が今後増加することが予想される。これからは、若い労働力になったり、国際結婚して少子高齢化に対しても貢献したり、移住者として鹿児島に資産を持ってきて居住する可能性もあると思う。外国人がこれから増える点について言及が少ないのではないか。</p> <p>ク 価値観の変化・多様化に対応するという観点だけでなく、社会における様々な機能や主体の複合化・協働・連携を率先、先導するという観点も重要(コミュニティ協議会、コミュニティスクール、地域包括ケア、まちなか図書館など)。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提</p> <p>(1)時代の潮流</p> <p>(2)本市の特性</p> <p>(3)将来推計</p> <p>3 基本構想</p> <p>(1)都市像</p> <p>(2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>(2)都市像</p> <p>ア 「躍動都市」という言葉は良いと思う。但し「都市の躍動」とは何をさすのか定義が必要。</p> <p>イ 他の自治体の都市像と比較して、特徴的なところを打ち出す必要があるのではないか。</p> <p>ウ 稼げる産業を育成し、その果実をどう再分配するかが重要である。現状に「人口集中と過疎化、地域的・経済的格差の課題」や、10年後の姿に「安心して暮らせる」といった文言を入れてはどうか。</p> <p>エ 都市像の中で示されている「人口減少・少子高齢化の進行、グローバル化やICT等新技術の進展、災害や感染症リスクの高まり」などは、全国的、平均的な表現になっていないか。</p> <p>オ どの基本目標が都市像のどこにつながっているのか、都市像と基本目標の関係がもう少し分かりやすく入ってくるのではないかな。</p> <p>(3)基本目標等</p> <p>① 信頼・共創政策に関すること</p> <p>ア 交流と言うと外から来ていただくイメージだが、交流には往来が大切であり、来てもらうだけでなく、こちらから出ていく事も重要。</p> <p>イ 国際交流については、年代に応じた交流ができればいいのではないかな。</p> <p>ウ シビックプライドは用語の補足説明が必要である。</p> <p>エ 信頼・共創政策は横断的な概念を表していると思う。シティプロモーションなど、今後10年間でどう世の中が変わるか分からない中、ぶれない軸が通っていることで住んでいる人のプライドにつながるのではないかな。</p> <p>オ 基本目標に「健全な財政の維持」という文言が入ってはいるが、今後、厳しい財政の中、何もかも行政頼みではまちづくりは進められない、そのための協働・コミュニティということであれば、その趣旨をもう少し明確に書いていいのではないかな。</p> <p>カ 「市民や行政、様々な地域団体や事業者など多様な主体が協働・連携し」の部分は、語順の整理・工夫が必要ではないかな。</p> <p>キ 「性別」は「ジェンダー(社会的・文化的につくられる性別)」としてはどうか。</p> <p>ク 人権は憲法では「保障」となっている。「市民一人ひとりの人権が保障され」または「市民一人ひとりの人権を尊重し」としてはどうか。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提</p> <p>(1)時代の潮流</p> <p>(2)本市の特性</p> <p>(3)将来推計</p> <p>3 基本構想</p> <p>(1)都市像</p> <p>(2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>ケ 社会の文化や慣習が公正でなければ女性は十分に能力を発揮できないので、「公正な社会規範の下、個性と能力を発揮できる」としてはどうか。</p> <p>コ («公正な社会規範の下»との文言を入れた場合)社会規範といえば法規範を指すことも多く、語感の硬さもあり、誤解が生まれやすいのではないか。自治体が公平さや社会規範を決めたり評価したりする姿勢に見え、後退する気がする。また、「人権が保障され」や「人権を尊重し」など、強い語調や能動態にした場合、「公正な社会規範」と相まって行政の主観的なニュアンスまで入りやすい気がする。</p> <p>サ 中核市の中でこれだけ大学が集まっている都市は珍しく、本市の特徴的な部分であろうと思う。県外で発展している都市は大学とともに地域づくりに取り組んでおり、地域づくりと大学という視点を盛り込めないか。</p> <p>② 自然・環境政策について</p> <p>ア 「ゼロカーボンシティかごしま」はいい取り組みだが、ただ自然のためというだけでは意味がない。その取組自体が他都市より勝っているとか、企業の競争力を上げるというようなことに結び付けられないか。</p> <p>イ ゼロカーボンシティや3Rに加えて、「アップサイクル」や「脱プラスチックシティ」といった視点も入れれば、他都市と差別化が図られ、稼げる鹿児島市につながるのではないか。</p> <p>ウ 環境に関して市民全体で取り組んでいく表現を盛り込めないか。</p> <p>エ 基本目標の語順は、「ごみの3Rや適正な処理を進め」ではなく、「3Rによるごみの減量や適正な処理を進め」とすべきではないか。</p> <p>オ 「緑あふれる、うるおいのあるまち」とあるが、鹿児島市は海が近く、自然は緑だけでなく青もあるのではないか。川や海など水に対することを入れるべきではないか。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提 (1)時代の潮流 (2)本市の特性 (3)将来推計</p> <p>3 基本構想 (1)都市像 (2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>③ 産業・交流政策について</p> <p>ア 「スポーツを楽しむことができる環境」とあるが、人が集うためにということであれば、文化・芸術・芸能なども含めるべきではないか。</p> <p>イ ICTを活用した産業は、ICTの業態だけでなく、ICTを活用して農林水産業などの生産性を上げるとか、商品開発をするといった着想につながるような表現があればいい。</p> <p>ウ 多様で柔軟な働き方は、どのような働き方を想定しているのか分かりにくい。いわゆる非正規雇用が労働力の調整弁にできるような働き方も含んでいるのではないかと受け取れる一方、ワーケーションやテレワーク、複数拠点などの働き方もある。要はワークライフバランスであり、「ワークライフバランスを実現しつつ多様な働き方を支援し」としてはどうか。</p> <p>エ スポーツ交流は五次総では文化と同じ政策にあったが、産業交流に移って稼ぐ力の一貫にしようという思いもあるかと思う。そういう面があるのであれば、そのことも表現してはどうか。</p> <p>オ 基本目標の文言の中には、いくつかの業種や分野が例示されているが、市民が読んだときに、戦略的な分野で順番に並んでいると受け止められるのではないか。スポーツ、産業、商業、農林水産業などの優先順位の見せ方をどうするか。</p> <p>カ 「街なか」は「まち中」としてはどうか。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提</p> <p>(1)時代の潮流</p> <p>(2)本市の特性</p> <p>(3)将来推計</p> <p>3 基本構想</p> <p>(1)都市像</p> <p>(2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>
<p>④ 健康・安心政策について</p> <p>ア 「健やかな暮らしを支える福祉サービスを充実するとともに、共に助け合い、一人ひとりが自分らしく生活できる地域づくりを進めます」という言葉の中には全て入っていると思う。ただ現実には、地域で困っている人は本当に些細なことで困っており、「支え合い」だけでは補えない部分もある。行政が主導し、コーディネートできればと思う部分もあるので、「自分らしく生活できる地域づくり」というところに、その内容が入ればいいのかではないか。</p> <p>イ 団塊の世代が後期高齢者になることや、8050問題に関する文言を入れてはどうか。</p>	

項目・要旨	基本構想(素案)の関連箇所
<p>⑤ 子ども・文教政策について</p> <p>ア 子育てにおける福祉は多様化してきており、障害のある子どもにかかる福祉関係の部分も大きくなり、学童保育も行われている。「学校」という文言だけが出てくると、福祉の部分が見えづらいので、もっと多様な場で育っていくという表現にできないか。また、鹿児島市のモデルとして、子育てに関しては、教育と福祉が融合するような方向性・表現の工夫ができないか。</p> <p>イ 「豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち」には「文化」という言葉がない。「豊かな個性」に地域文化という考えが入っているとは思いますが、誰もが生涯に渡って学び続けることができる環境を整えるほか、「地域文化や文化芸術」というように「地域文化」を具体的に入れてはどうか。</p> <p>ウ 学校教育の表現に、国としても強く推し進めている「キャリア教育」がないのは残念。教育の情報化も含め、先進的でエッジの効いたキーワード、鹿児島市の強みを押し出す表現がどこか1つあればと思う。</p> <p>エ キャリア教育は「信頼・共創政策」や「産業・交流政策」など、他の政策と連動・横断しやすく、本来、学力向上まで含めた用語である。表題に掲げるのが難しいのであれば、各論や重点プロジェクトに期待したい。まち・ひと・しごと創生戦略を入れ込むのであれば、若年者の地元定着にもつながるので重要だと思う。</p> <p>オ 基本目標の文頭に唐突に「結婚」と出てくるのは違和感がある。</p> <p>カ 基本目標の第一段落と第二段落を入れてはどうか。</p> <p>キ 「支援」は市民に対する支援という意味だと思うが、事業者の教育という意味合いも含ませることができればと思う。</p> <p>ク 「切れ目のない」という表現は、結婚から出産、子育てまでつながっているように見えるが、それぞれ個別の選択だと思う。結婚への考え方や性自認の多様性も社会的に認識され、ジェンダー平等が言われる中で適切か。</p> <p>ケ 「生涯学習環境の充実」について、学び直しは、労働者が異なる職種へ転職する際やデジタル化など時代に合わせてキャリアアップしていくためのものでもある。産業政策としての視点での、夜間中学なども含む高校や大学との連携も含むものとして、取り組んで頂きたいと思う。</p> <p>コ 待機児童の改善も大事だが、経済的な理由で結婚が難しい方や、経済的な理由で子どもをつくりづらい方々への支援も必要だと思う。</p>	<p>■基本構想(素案)</p> <p>2 総合計画策定の前提</p> <p>(1)時代の潮流</p> <p>(2)本市の特性</p> <p>(3)将来推計</p> <p>3 基本構想</p> <p>(1)都市像</p> <p>(2)基本目標</p> <p>4 総合計画の体系図</p>